

改装工事が進められてきたＪＲ潟町駅（上越市大潟区）で12日、完工の記念式典が駅前広場で開かれた。地元に残る人魚やカッパ伝説を取り入れた装いの駅舎に、関係者は地域の魅力発信を期待した。

人魚がお出迎え “玄関”見に来て

潟町駅は鵜の浜温泉の最寄り駅。鵜の浜海岸には人魚の像が立ち、「恋人の聖地」にも認定されている。近くの鵜ノ池ではカッパ伝説が語り継がれる。

駅舎はＪＲ東日本が昨年11月から改装工事をした。外壁は曲線的なデザインで砂浜や海の波を表現し、人魚の家をイメージ。駅名標やステンドグラスの飾り窓には人魚の

上越・潟町駅が完工

姿を採り入れた。待合スペースには人魚とカッパ、地引き網を題材にした影絵の飾りを施した。式典では、上越市の村山秀幸市長が「遊び心があふれた駅になった。大潟区の特徴を理解してもらえる工夫が凝らされている」と感謝。大潟観光協会の近藤誠一会長は「地元の伝説を観光客に知ってもらえるのでうれしい」と語った。

ＪＲ新潟支社営業部の中村浩之部長は「北陸新幹線の利用客にも潟町駅へ訪れてもらい、魅力を感じてほしい」と述べた。



改装工事の完了を祝う式典が開かれたＪＲ潟町駅＝12日、上越市大潟区潟町